

この使用説明書をよく読んでから使用してください

酵素キャリブレーター「カインス」

【製造番号】 XXX

【使用期限】 20XX.XX

酵素名	試薬名	表示値	標準物質 (供給機関)
AST	アクアオート カインス AST 試薬	000 U/L	JCCLS CRM-001 (ReCCS)
ALT	アクアオート カインス ALT 試薬	000 U/L	
ALP	アクアオート カインス ALP 試薬 (IFCC)	000 U/L	
CK	Lタイプワコー CK	000 U/L	
LD	アクアオート カインス LD 試薬 (IFCC)	000 U/L	
γ-GTP	Lタイプワコー γ-GT・J	000 U/L	
AMY	Lタイプワコー AMY・IF	000 U/L	

【使用目的】

酵素活性測定試薬の標準液

- 1) AST (アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ)
- 2) ALT (アラニンアミノトランスフェラーゼ)
- 3) ALP (アルカリ性フォスファターゼ)
- 4) CK (クレアチンキナーゼ)
- 5) LD (乳酸脱水素酵素)
- 6) γ-GTP (ガンマーグルタミルトランスペプチダーゼ)
- 7) AMY (アミラーゼ)

【特徴】

- 1) 常用酵素標準物質：JSCC 常用酵素 (JCCLS CRM-001) を用いて検定しています。
- 2) ヒト型酵素を使用しており、ウシ血清アルブミン (BSA) をベースにしています。

【試薬の調製方法】

- 1) 本製品に精製水 (水温 15~25°C) を 3 mL 加え、緩やかに転倒混和して完全に溶解してください。
- 2) 溶解後は密栓して 2~10°C の冷暗所に保存し、24 時間以内に使用してください。
- 3) 溶解後は再凍結して使用しないでください。

【使用上又は取扱い上の注意】

- 1) 本製品については、HBs 抗原、HIV 抗体 (HIV-1、HIV-2)、HTLV-1 抗体及び HCV 抗体が陰性であることを確認しております。しかし、現時点では、どのような試験法を用いてもヒト感染ウイルスの存在を否定することは不可能です。従って、検体と同様、感染の危険性があるものとして取扱いには十分注意してください。
- 2) 検体や本製品に接触した器具等についても、感染の危険があるものとして取扱ってください。
- 3) 使用にあたっては、感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用してください。
- 4) 感染を避けるため、口によるピペティングを行わないでください。
- 5) 誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合は水で十分に洗い流す等の応急措置を行い、必要があれば医師の手当等を受けてください。

- 6) 本製品を廃棄する場合、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法等の規定に従って処理してください。
- 7) 検査に使用した器具や試薬等は感染の危険があるものとして適切に処理してください。次亜塩素酸ナトリウム (0.1%以上、1 時間以上浸漬)、グルタルアルデヒド溶液 (2%、1 時間以上浸漬) による消毒処理又はオートクレーブ (121°C、20 分以上) による滅菌処理を行ってください。
- 8) 本製品が漏出又は飛散した場合、感染の危険があるものとして消毒処理又は滅菌処理を行ってください。
- 9) 本製品の容器等は他の目的に転用しないでください。

【保管方法】

保管方法：-20°C 以下

【包装単位】

製品名	管理コード	包装
酵素キャリブレーター「カインス」	CR-7100	3 mL 用 × 4

【問い合わせ先】

株式会社カインス 学術部
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-38-18
TEL 03 (3816) 4480 FAX 03 (3816) 6544

【製造販売元】

 株式会社カインス
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-38-18
TEL 03 (3816) 4485